

学校 教育 目標	[心をあわせ あかるくのびる 北綱の子] ・自ら問題を発見し、解決することができる子を育てます(知) ・自分も友達も大切に、思いやりのある心をもつ子を育てます(徳) ・心と身体をきたえ、安全への知識と態度を身につけ、自分や人の生命と身体を大切にすることを育てます(体) ・北綱島のまちに学び、まちに生きる子を育てます(公) ・様々な社会の変化に対応し、未来をひらく子を育てます(開)				
	学校 概要	創立 42 周年	学校長 基野 啓司	副校長 田宮 真樹	2 学期制
		児童生徒数: 658 人	主な関係校: 日吉台中学校 北綱島特別支援学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分の考えをもち、対話を通してよりよく問題解決を図る力> <つながりを考え、合意形成する姿勢> <伝え合うことで自分の考えを深化させる力> <主体性・積極性>	日吉台中学校 北綱島小学校 日吉南小学校 日吉台小学校 矢上小学校 箕輪小学校(R2~)	自己のよさに気づき、友達のよさも認めあえる子【笑顔】 進んで他者と関わり合い、地域に生きる子【あいさつ】 ・小中一貫教育推進ブロック内の公開授業、児童生徒交流、教職員の協働で小中一貫教区の質を高める。 ・年間通じてあいさつの大切さを指導するとともに、ブロック共通の「あいさつ月間」には、計画委員会を中心とした児童主体のあいさつ運動に取り組む。

中期 取組 目標	○「チーム北綱島小」として全教職員が学校運営に参画し、活力と魅力ある学校づくりに取り組みます。 ・「教科分担制」を導入し、学級の壁を越えた「チーム指導」を目指す。 ・「主体的に取り組む授業の実践」(知)「挨拶・あたたかい心」(徳)「体力向上・食育」を目指した教育活動を展開する。 ・地域や家庭と連携し、災害を中心とした様々な危険から身を守り、自助・共助の態度を養う安全防災教育の充実を図る。 ・学校運営協議会等を通して、学校・家庭・地域が共通理解を図り開かれた学校づくりを目指す。 ・教職員の働き方改革を進め、先生が授業や児童への関わりにできるだけ専念できる環境を作る。

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①プログラミング教育を取り入れる教科や内容を検討し、ICT支援員と連携して推進するようにする。 ②新しい教育課程にもとづく学習が確実に実施できるようにする。 ③体験活動や人とのかかわりをさらに充実させ、主体的に学ぶ力を伸ばすようにする。
担当 A 学力向上、重点研	
豊かな心	①道徳の学習で、教科書を活用した授業を充実させて道徳的価値を味わえるようにする。 ②異校種や異学年との交流を通して、実体験に基づく思いやりの心を育むようにする。
担当 B 人権・福祉・交流	
健やかな体	①体力テストの分析から体力向上の取り組みを考え、日常生活に取り入れるようにする。PDCAを明確にしながらかつて継続していくようにする。
担当 B 体力・健康・環境	
地域連携	①地域コーディネーターと連携を取りながら、学習活動を通して児童と地域の方とのつながりが更に深められるようにする。 ②ボランティア(ほっこりサポーター)の認識度を高め、協力者を増やすようにする。
担当 地域連携部	
安全防災教育	①「北綱安全防災プラン」を更新し、各教科の中で安全防災の資質能力を高めるようにする。ESDの視点も意識するようにする。 ②安全防災に関わる訓練と、知識理解や資質能力を高める学習と、地域の人と関わり顔と名前のわかる関係を作ることを意図的に進めるようにする。
担当 安全防災教育推進	
特別支援教育	①個別支援学級のチーム指導や障害種別に応じた指導の在り方を見直し、環境整備をして指導するようにする。 ②学習ルームの環境を整備し、特別支援教育(チャレンジルーム)を充実させていく。
担当 専 特別支援教育、専任	
働き方改革	①令和元年度に改善見直したことを確実に実施し、業務の効率化や心のゆとりが実感できるようにする。 ②「働き方改革」の更なる推進(2年目)として、学校行事や校務の見直しを継続していく。
担当 教務	
学校運営協議会	①学校運営協議会や、諸行事、授業参観等を通して学校と地域の情報共有、協力体制、共通理解を更に深めていく。 ②委員の方々の意見交流を更に充実させ「地域学校協働活動」を推進する。
担当 教務	
いじめへの対応	①教職員のいじめに対する意識を高くし、いじめをしない、させない、ゆるさない児童を育成する。 ②児童理解の時間を設け共通理解をもつことで、問題があれば、組織的対応を迅速に行うことができるようにする。
担当 B 児童指導	
人材育成・組織運営	①学校経営に中心となって参画する立場で経験を重ねることで、ミドルリーダーの育成を図り組織力を高めていく。 ②教科分担制を充実させ、学年がチームとして児童を指導できるようにする。
担当 教務、メンター研	